

# 平成16年度学校経営計画

## 1 学校の現況

学校番号	66	学校名	茨城県立八郷高等学校						課程	全日制	学校長名	坂内 忍				
教頭名	橋本 實									事務長名	大山 嘉久					
教職員数	教諭	19	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	1	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	32
生徒数	小学科	1年		2年		3年		合計		合計クラス数						
		男	女	男	女	男	女	男	女							
	普通科	37	28	43	26	64	30	144	84	9						

## 2 目指す学校像

教育基本法，学校教育法並びに本県教育の方針に基づき，地域社会の特性，生徒の実態を考慮し，校訓(誠実・努力・博愛)を基盤として心身ともに健康で「生きる力」を備えた，国家・社会に有為な人材の育成に努める。  
 また，地域の学校として，教職員が一致協力して学校運営に努め，生徒一人一人の可能性を見つけて，伸ばす教育を展開し，自己実現をめざす進路指導の充実に努める。

## 3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	・学習意欲・授業の取り組みにやや消極的で，基礎学力に不十分な生徒が若干見られる。国語・英語で実施している少人数授業は個々に目が行き届ききめ細かな授業展開となっている。	・授業に対する取り組みをどう進めるか。 ・わかる授業をどのように展開するか。 ・学力の低い生徒にどのように対処するか。
進路指導	・約7割の生徒は就職，3割が進学希望である。自らの進路選択に主体的にかかわれず，希望進路の意志決定が遅くなってしまう生徒がいる。景気の低迷により，生徒の希望する企業・職種が減少している。	・就職希望者への職業への意識づけをどのようにするか。関係職員による企業雇用要請訪問実施。 ・進学希望者への学力向上をどのようにするか。
生徒指導	・大半の生徒が落ち着いた真面目な生活態度であるが，なかに基本的な生活習慣が確立されていない生徒がおり，また，家庭の教育力・指導力が低下して生徒自身が進むべき方向を見失っている場合がある。	・正しい服装着用をどのように進めるか。 ・欠席の多い生徒への対応をどのようにするか。 ・生徒の自己指導能力をどう啓発するか。
特別活動	・部活動は各部とも人数は小規模であるが，部顧問の熱心な指導があり充実した活動ができるようになり，地区予選を勝ち抜き，県・関東大会へ出場を果たす部も現れ，内部に競争意識が芽生え，学校の活性化に繋がっている。	・部員の獲得をどのようにするか。(1年生部活動全員加入の原則)・部顧問による支援体制の強化と，環境・施設の整備拡充。

## 4 中間的目標

- 1 生徒の学習意欲を引き出し、一人一人の可能性を伸ばすために、特色ある教育課程を編成し、わかる授業の工夫と内容の充実を図る。
- 2 豊かな人間性を育み、「心の教育」を実践し、学校教育全般をととして人権教育や道徳教育の充実、規範意識の高揚に努める。
- 3 進路意識の自覚を促し、主体的な進路決定がなされるよう、個別面接や各種進路ガイダンス・インターンシップの充実を図る。
- 4 生徒の自主的・実践的態度の涵養が図られるよう部活動、生徒会活動、文化祭・クラスマッチ等の学校行事の充実を図る。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒の学力に応じたきめ細かな指導を行う。</li> <li>・基本的生活習慣の確立を図る。</li> <li>1年次から進路選択能力の向上を図る。</li> <li>・部活動や学校行事をさらに活発にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の少人数学習を実施すると共に、「わかる授業」を念頭に、各教科においては基礎基本の定着を目指した指導の充実を図る。</li> <li>・遅刻・欠席、服装・頭髪指導等に全校で取り組み、違反生徒に対しては保護者と連携し家庭訪問等を実施し、指導の徹底を図る。</li> <li>・個別面談を充実し、生徒一人ひとりの状況を把握し、進路意識の自覚を促し、高校生活への目的意識を持たせる。</li> <li>・生徒会・HR役員が中心となり、全校生徒が行事へ積極的に参加するようにする。1年生全員部加入制で部活動の振興を図る。</li> </ul>	
2年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の可能性をのばすためのきめ細かな学習指導の工夫。</li> <li>・基本的生活習慣の確立を図り、自主的・主体的態度を育てる。</li> <li>・在り方・生き方の教育をととし進路選択に関する学習を充実させ、進路意識の高揚を図る。</li> <li>・部活動・学校行事の推進・発展を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学級の特長を生かした授業を展開し、基礎学力の向上を図る。ITを活用した授業の充実を図る。</li> <li>・個別面談やHR指導資料を活用しHR活動の充実を図り、また学年、全校集会の計画的実施により問題行動の未然防止を図る。</li> <li>・インターンシップの充実を図り、就職への目的意識を持たせる。</li> <li>・各種の検定試験、職業適性検査、進路ガイダンス等を実施し、就職進学の希望進路の拡大を図る。</li> <li>・全教職員による部活動への支援体制を強化し、また第19回緑園祭を成功させて、活力ある学校の樹立をめざす。</li> </ul>	
3年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身につけるための工夫を行う。</li> <li>・規範意識の確立や道徳心・倫理観の涵養に努め、豊かな人間性を育む。</li> <li>・自己実現・主体的な進路決定をめざす進路指導の充実を図る。</li> <li>・生徒の自主性を尊重した学校行事、HR活動、生徒会活動を充実させる。</li> <li>・部活動の振興を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の授業に対する意識を向上させ、自ら学習に取り組むための工夫をする。</li> <li>・教職員の一致協力した指導体制により、問題行動の未然防止と指導件数の減少を図り、生徒の自己指導力・自己抑制力等の育成に努める。</li> <li>・インターネットを自ら操作し、情報検索ができるようにする。</li> <li>・生徒が自ら意見を述べ、学級活動へ参加できるようにする。</li> <li>・年間を通して部活動を活発にし、上位大会への出場をめざす。</li> </ul>	